

<b>国際公共政策論</b>		<b>講義</b>	<b>教授 田中 秀臣</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>国際ビジネスコースの専門 選択科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>23200207</b>	

### 1. 授業のねらい・概要

世界の人々の生活、経済、そして政府および国際的な政策協調との関連について理解を深める。特に本講義では、ひとつの国では対応が困難な様々な課題（新型コロナ危機、環境問題、難民、貿易体制の構築、金融的問題、安全保障）を中心に学生との議論を通じて講義をすすめていく方針である。

### 2. 授業の進め方

特に教科書は指定しない。Power point などを使用して、時事的テーマもからめてわかりやすく説明していく。初心者でも予備知識なく国際公共政策の理解が深まるように講義は進行していこう。

### 3. 授業計画

1. 全体のガイダンス	9. 移民の経済学
2. 国際公共政策の理論（ゲーム論アプローチ）	10. 難民対策
3. 市場の失敗と集合行為	11. ポスト新型コロナ危機の経済学再考
4. 安全保障の経済学（北朝鮮核開発問題を事例に）	12. 経済格差の国際的解決
5. 米中貿易戦争と貿易政策、ゲーム理論の応用	13. 国際的文化的政策の経済学
6. 新型コロナ危機の経済学 I	14. 国際的文化的政策の経済学：K-pop vs J-pop
7. 新型コロナ危機の経済学 II	15. 国家と社会はなぜ衰退するのか？
8. 環境問題での国際協調	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業の前に指定された参考資料を各自よく学んでおくこと。目安として1時間程度の学習時間が必要。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施後、レポートについては提出後に、標準的なレポートの書き方、求められたポイント、高得点のためのコツなどを解説する。

### 6. 授業における学修の到達目標

国際的に問題になっている政策問題の主要項目について、一通りの理解と習得ができていること。現代の問題との関連が理解できること。

### 7. 成績評価の方法・基準

授業中の取り組む姿勢を重視する（50%）。期末には試験またはレポートを提出させて総合的に評価（50%）していく。

### 8. テキスト・参考文献

特に指定はない。ただし以下の書籍を講義ではしばしば利用する。

Peinhardt&Sandler 著 Transnational cooperation, Oxford Uni. Press.

鈴木基史&岡田章『「国際紛争と協調のゲーム」有斐閣

吉田和男&藤本茂『グローバルな危機の構造と日本の戦略』晃洋書房

佐々木隆生『国際公共財の政治経済学』岩波書店

ジョン・G・アイケンベリー『リベラルな秩序か覇権か』上下、勁草書房

アマルティア・セン『貧困と飢饉』岩波書店

ガブリエル・ズックマン『失われた国家の富』NTT出版

タイラー・コーエン『創造的破壊』作品社

タイラー・コーエン『エコノミストの昼ごはん』作品社。

#### **9. 受講上の留意事項**

特にないが、熱意をもって講義を理解しようとする姿勢が重要である。また現実の経済の話題に常に注意を払ってほしい。疑問や議論があれば積極的に質問してほしい。

#### **10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当しない。

#### **11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。